

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身もしくはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身もしくはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2005 年 1 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日の間に、虎の門病院本院・分院において S 状結腸膀胱瘻に対する外科的手術を受けられた方

【研究課題名】

憩室炎に起因した S 状結腸膀胱瘻に対する根治的手術の治療成績の向上を目指した手術手技・周術期管理に関する探索的研究

【研究の目的・背景】

《目的》 S 状結腸膀胱瘻手術における手術成績に影響を及ぼす臨床病理学的因子を明らかにし、合併症の低減や短期成績の改善を目的とした望ましい手技・周術期管理の確立に向けた検討を行います。

《研究に至る背景》 S 状結腸膀胱瘻の多くは繰り返す S 状結腸憩室炎に起因し、気尿や糞尿による QOL の低下や尿路感染を引き起こします。治療としての第一選択は外科的な手術が必要であることが知られております。根治的な手術としては憩室により硬化し膿瘍を形成した S 状結腸の切除および吻合を行います。しかし感染による膿瘍や周囲組織の線維化により手術難易度は高いとされ、姑息的治療として人工肛門造設のみが行われることもあり、患者の QOL の低下が問題となります。当院では S 状結腸膀胱瘻に対して人工肛門を作らない根治手術を積極的に行っており、安全性の向上のためにその手術治療のリスクや問題点を客観的に明らかにし、またそれらに深くかわる臨床病理学的因子を洗い出し、適切な手術手技、周術期管理の構築に向けた検討を行います。

【研究機関】

2024 年 6 月 24 日 ～ 2026 年 5 月 31 日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 消化器外科、的場周一郎 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査・画像データ、診療記録、手術記録、麻酔記録、病理診断レポートなど

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：診療科名 消化器外科：下部 ・ 氏名 戸田重夫

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身もしくはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身もしくはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2024 年 11 月 30 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 虎の門病院 消化器外科 ・ 戸田重夫

電話 03-3588-1111(代表)